

各 位

### 第3回 化粧品技術専門講習会 微生物実践講座 開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度5月に第2回化粧品技術専門講習会 微生物実践講座を開催いたし、ご好評賜りました。大変ご参加のご要望が高く、西日本化粧品工業会、日本化粧品技術者会西日本支部の共催にて、同講座を追加で下記の通り開催いたします。

安全な化粧品をお客さまへお届けするために、製造工程や消費者の使用における微生物汚染を防ぐ取り組みは重要です。化粧品の微生物対策は、処方開発の段階から、製造、クレーム対応まで幅広い過程での管理を総括的に進める必要があります。

そこで今回も、市場でのトラブルを予防し、適切なクレーム対応を行なえるように、処方開発者と微生物担当者（品質保証担当者）の両方の立場の方々にその知識や技術を学んでいただく講習会を、浅賀良雄先生にお願いし開催することにいたしました。

このような趣旨で開催いたしますので、本講座へはできる限り処方開発者と微生物担当者（品質保証担当者）と一緒にご参加いただくことをお勧めいたします。なお、より多くの企業様に受講していただくために、参加人数は1社2名までとさせていただきます。

敬具

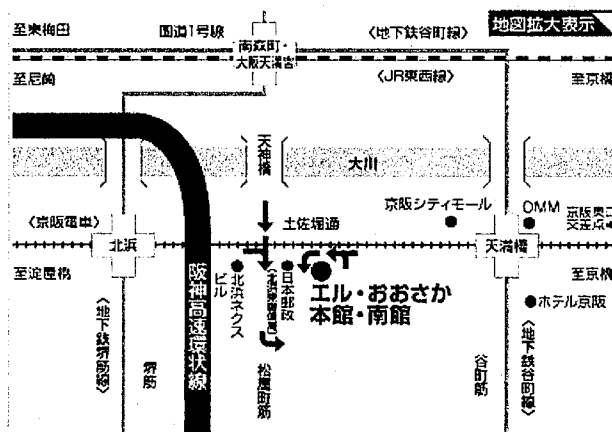
#### 記

1. 日 程 2018年8月31日(金) 10:30～16:30 (受付開始 10:00)

2. 場 所 エル・おおさか(大阪府立労働会館)南ホール

(<http://www.l-osaka.or.jp/pages/access.html>)

〒540-0033 大阪府大阪市中央区北浜東 3-14 / TEL: 06-6942-0001



- 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ 300m
- 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ 500m
- JR 東西線「大阪天満宮駅」より南へ 850m

3. 対 象 化粧品の微生物対策に関連する業務に携わられている実務者の方(微生物試験担当者  
化粧品処方開発担当者) 講義内容が実務者向けへの専門的な知識、技術の取得の  
一助となることを目的としております。

定員 144名 (希望者多数の場合は、先着順とさせていただきます。)

多くの企業様にご参加いただきたく、1社2名までとさせていただきます。

4. 講 師 微生物技術アドバイザー 浅賀良雄先生  
元日本化粧品工業連合会 微生物専門委員長 元ISO/TC217(化粧品)日本代表委員

5. 講習内容 別紙プログラム参照  
昼食時間が短く、周辺に昼食をとる場所が少ないためお弁当をご用意いたします。

6. 講習会費 1名につき ¥8,000 ※ テキストは当日お渡しいたします。

#### 【お申込み方法について】

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX 又はメール(PDF)にて、お送りください。

事務局より、FAX にて「受付連絡票」を送信いたしますので、受け取られた後、講習会費をお振込みください。  
お申込み先、及び、お振込み先は以下の通りです。

数日経っても、FAX やお電話のご連絡のないときは日本化粧品技術者会 西日本支部 事務局までご連絡を  
お願い致します。

〔お申込み先〕 日本化粧品技術者会 西日本支部 事務局  
〒541-0045 大阪府中央区道修町1-7-11 岩瀬コスファ(株)内  
TEL:06-6231-3459 / FAX:06-6231-5769 E-mail: osaka@sccj-ifsc.com

〔お振込み先〕 三井住友銀行 大阪中央支店 普通 No.145680  
日本化粧品技術者会 大阪支部(ニホンケショウヒンギョウツシャカイ オオサカシブ)  
会計 安藤 芳彦 (カイケイ アンドウ ヨシヒコ)

\*お振込み手数料は各社にて、ご負担ください。

- ◆ お申込み締切 : 6月29日(金)
- ◆ 講習会費お振込締切 : 7月6日(金) 「受付連絡票」FAXをお受け取り後、お振込みください。

**注意 :** ご参加頂ける方には、「受付連絡票」を FAX させていただきます。

「受付連絡票」が未着の場合は定員オーバーになっております。くれぐれもお振込みなさらぬよう、お願いいたします。お振込みいただいた場合は返金いたしますが、振込手数料は各社にてご負担いただきます。

定員オーバーでご参加いただけない場合はお電話、FAX で速やかに連絡いたします。

なお、講習会費の入金を確認後、受講券と領収書を郵送にて、お送りいたしますので、各種期日は厳守してください。 受講券は、当日受付にてご提示いただきます。必ずお持ちください。

### 【お申込記入時のお願い】

本講習会は実務者(特に微生物試験担当者)を対象として、日ごろの疑問点、お悩みの点について、解決していただけるように企画しております。本講習会を有益なものにするため、参加者の皆さまには「講師に聞きたいこと、日ごろの疑問点」をご記入していただきますよう、ご協力をお願いいたします。また、お申込み後、参加者へご連絡する場合がございますので、必ずメールアドレスの記載をお願いいたします。

### 【キャンセルについて】

お申込み後、キャンセルをされる場合は受講券・領収書を事務局へご返送ください。※7月27日(金)必着講習会費をご返金いたします。(振込手数料は各社ご負担となります。)

ご連絡をいただきましても、期日までに受講券・領収書が事務局に届かなかった場合や、期日以降のお申し出の場合は、ご返金をいたし兼ねますので、予めご了承ください。

(ご都合上、参加予定者に変更が生じる場合は、代理の方の出席でお願いいたします。事前に参加者変更のご連絡をお願い致します。)

### 【お問合せ先】

日本化粧品技術者会 西日本支部 事務局

担当：川戸

TEL: 06-6231-3459 / FAX: 06-6231-5769 / E-mail: osaka@sccj-ifsc.com

※5月25日に開催されました第30回 SCCJ 総会において、支部名変更の承認がされ、「大阪支部」から「西日本支部」に変更となりました。

但し、銀行振込口座につきましてはまだ手続きが済んでおりません。

ゆえに、前名称(大阪支部)のままになっておりますが、問題はございません。

よろしくお願いいたします。

以上

# 第3回 化粧品技術専門講習会 微生物実践講座 参加申込書

日本化粧品技術者会 西日本支部 事務局宛 (FAX : 06-6231-5769)

2018年 月 日

	フリガナ	メールアドレス	受付番号 (事務局 記入)
	受講者氏名		
1			
2			
講師に聞きたいこと、日ごろの疑問点			

- ※ 申込後、ご連絡する場合がございますので、必ず受講者全員のメールアドレスをご記入ください。  
 また、日ごろの疑問点やお悩みの点を解決できるような講義を目指しておりますので、  
「講師に聞きたいこと、日ごろの疑問点」をご記入していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

## 【申込担当者】

会社名			
ご担当者氏名			
住所	〒		
TEL		返信先 FAX	
E-Mail			
参加費合計	¥	振込予定日	月 日

- ※ お申込み受付のご連絡といたしまして、後日事務局より「受付連絡票」を送信いたしますので、返信 FAX 番号を必ずご記入ください。
- ※ 講習会費につきましては、事務局からの返信 FAX を受け取られてからのお振込みで、お願いいたします。
- ※ 受講券は、講習会費の入金確認後に人数分を、ご担当者様に郵送にて、お送りいたします。  
 恐れ入りますが、講習会費のお振込みは、7月6日(金) 厳守でお願い申し上げます。

<受付連絡票> (以下、事務局記入欄)

# 第3回 化粧品技術専門講習会 微生物実践講座 プログラム

～実務担当者向け 化粧品の微生物汚染対策 実践講座～

2018年8月31日(金)

エル・おおさか(大阪府立労働会館)南ホール

講師:微生物技術アドバイザー 浅賀良雄先生

開始時間	講義内容
10:30	開会のあいさつ (SCCJ 西日本支部 化粧品技術講習部会 部会長 南野 美紀)
10:35	1. 防腐設計 (二次汚染対策) <ul style="list-style-type: none"><li>■ 最適な防腐力設計のための防腐剤の挙動について</li><li>■ 配合成分から見た最適な防腐剤選択のための事例紹介</li><li>■ パラベンフリー・防腐剤フリー商品開発の実践技術と処方例</li></ul>
12:00	昼食 (50分) 昼食を準備いたします。
12:50	2. 保存効力試験 (二次汚染対策) <ul style="list-style-type: none"><li>■ 保存効力試験方法の概要</li><li>■ 再現性の高い保存効力試験操作の詳しい方法について</li><li>■ 防腐力設計のための防腐性の客観的評価方法 (判定基準について)</li></ul> 3. 製造環境管理 (一次汚染対策) <ul style="list-style-type: none"><li>■ 汚染防止のための工程管理</li><li>■ 製造用水の管理ポイントと具体的な実施例</li><li>■ 工程検査の具体的な事例と汚染菌事故の原因追究方法</li></ul>
14:00	休憩 (10分)
14:10	4. 出荷前の微生物試験 (品質管理) <ul style="list-style-type: none"><li>■ 薬機法順守で生産出荷するための「特定菌検査試験法」</li><li>■ 現場で役立つ、検出菌の簡易同定・特定菌確認の推奨</li><li>■ 出荷前検査試料のサンプリングの妥当性を検証する具体的な進め方と実施例</li></ul> 5. 市場でのトラブル・クレーム対応 (品質管理・処方設計) <ul style="list-style-type: none"><li>■ 実際にクレーム事故が発生した場合の実務対応の事例紹介</li><li>■ 低濃度汚染の検出による回収事故防止対策</li><li>■ いろいろな環境汚染菌と特定菌の識別</li></ul>
15:00	休憩 (10分)
15:10	6. オープンディスカッション <ul style="list-style-type: none"><li>■ よくある質問とその回答</li><li>■ 事前質問に対する回答と解説</li></ul>
16:30	閉会のあいさつ